

学位論文審査の結果の要旨

李曉曄

本研究は、農山村地域を主な活動の場とする自然学校の新たな可能性に関する研究である。阪神・淡路大震災（1995年）を契機に被災地での活動を一つの柱とし始めた自然学校を「被災地支援型自然学校」と定義し、東日本大震災におけるRQ市民災害救援センター（のちにRQ災害教育センター）の役割を中心に、農山漁村地域の振興においてとくに重要な役割を期待されている自然学校の新たな社会的価値を明らかにした。これらの知見は、農山村地域振興に関する研究及び環境教育学の研究に大きく寄与するものである。

以上のように、本論文は、多くの新しい知見を有すること、論文の内容、構成および公表論文数などから、本学位論文審査委員会は、全員一致して、本論文が博士（農学）の学位論文として十分価値があるものと判断し、合格と判定した。